

平成25年7月12日
衛生微生物技術協議会第34回研究会
於：名古屋市中小企業振興会館



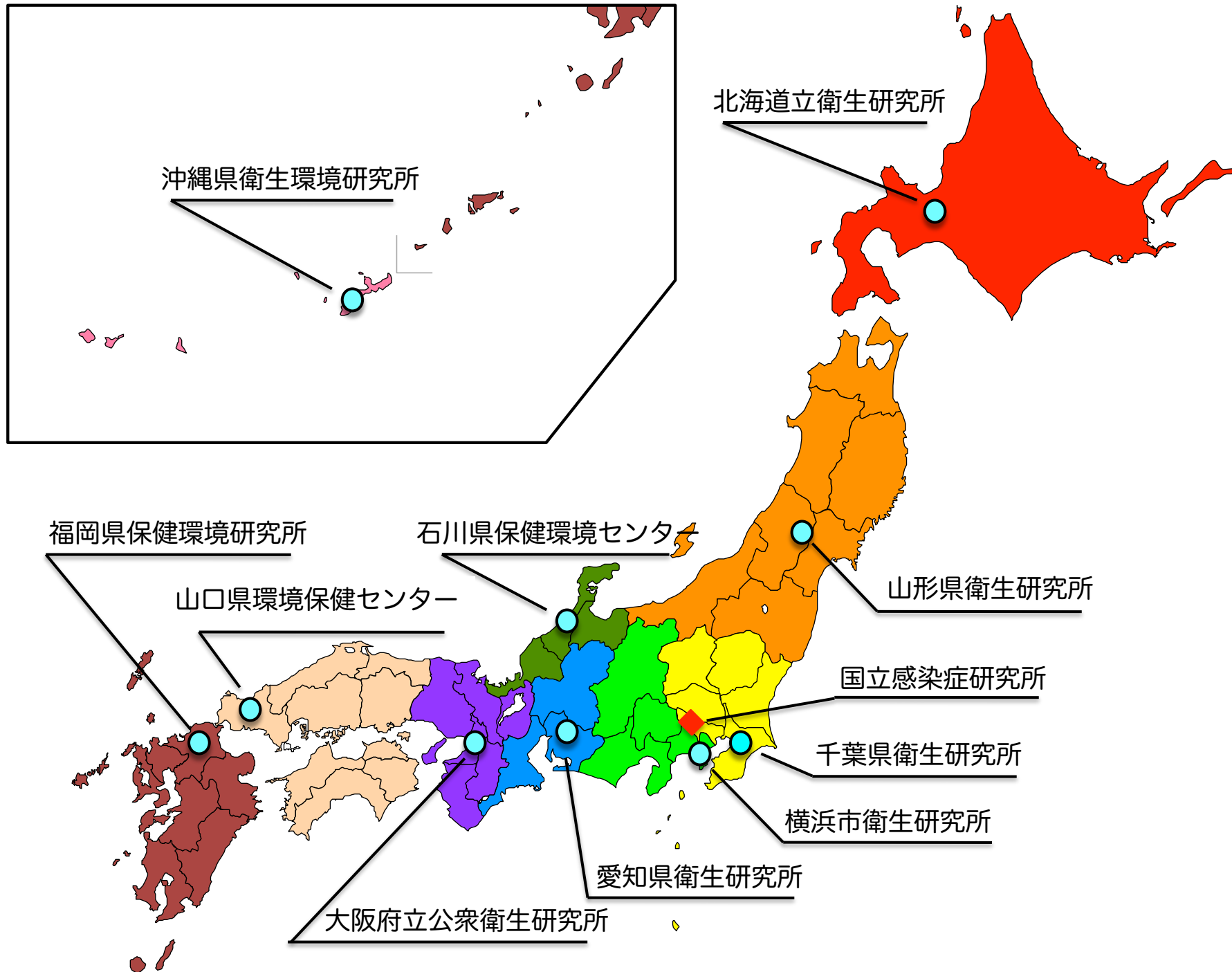
麻疹・風しん レファレンスセンター報告

麻疹・風しんレファレンスセンター

世話人 国立感染症研究所ウイルス第3部

駒瀬 勝啓



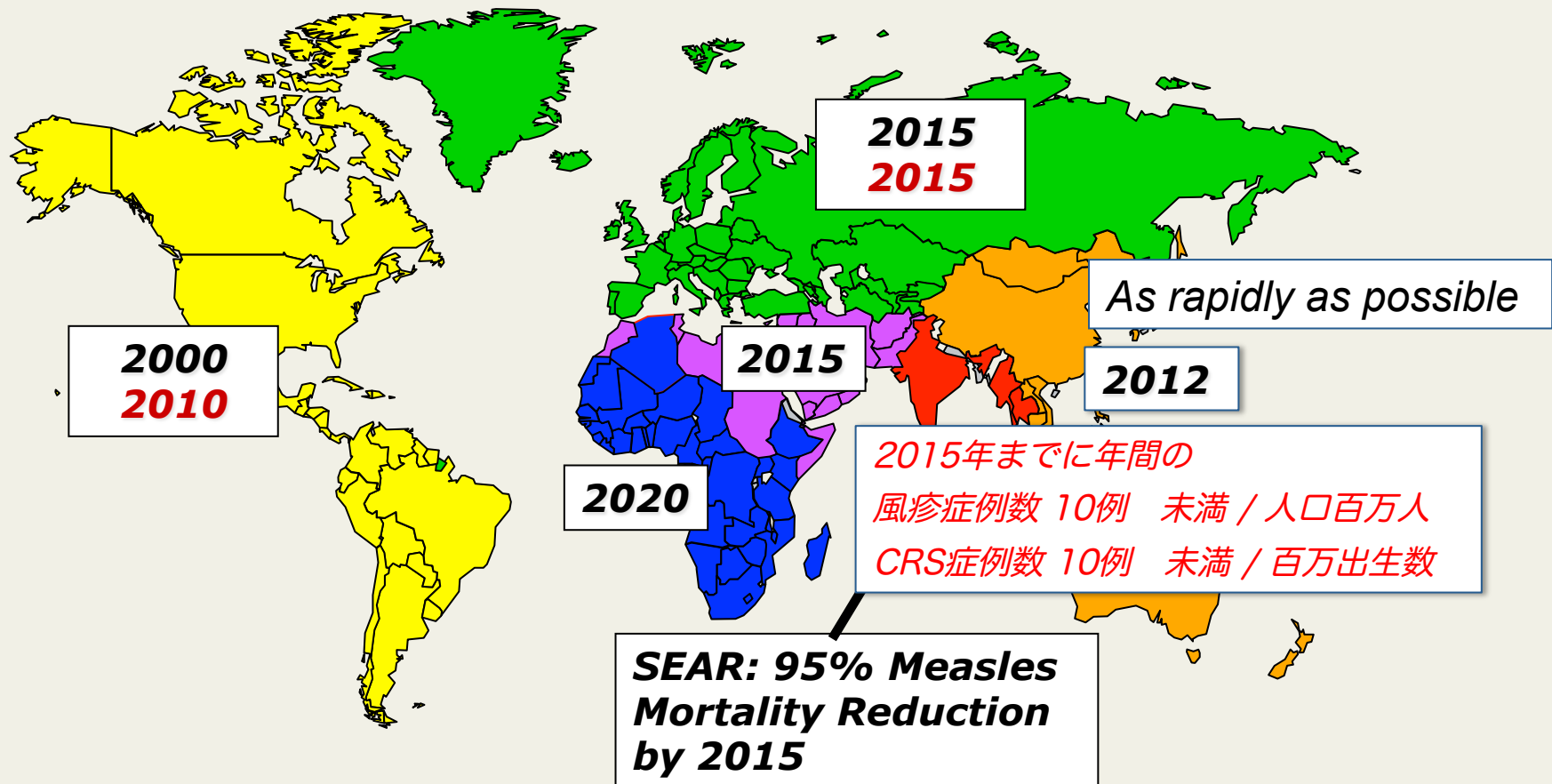


H25年度麻しん・風しんレファレンスセンター

ブロック	所属	担当者
世話人	国立感染症研究所	駒瀬勝啓
北海道	北海道立衛生研究所	長野秀樹
東北・新潟	山形県衛生研究所	青木洋子
北関東・東京	千葉県衛生研究所	小川知子
神奈川・甲信・静岡	横浜市衛生研究所	七種美和子
東海	愛知県衛生研究所	皆川洋子
北陸	石川県保健環境センター	児玉洋江
近畿	大阪府立公衆衛生研究所	加瀬哲男
中国・四国	山口県環境保健センター	村田祥子
九州	福岡県保健環境研究所	濱崎光宏、石橋哲也
沖縄	沖縄県衛生環境研究所	加藤峰史

Measles and *Rubella* Elimination Goals by WHO Region, August 2011

Americas, Europe, E. Mediterranean, W. Pacific, Africa have measles elimination goals
Americas and Europe have rubella elimination goals



麻疹排除の定義 (WHO)

- 適切なサーベイランスの下、ある特定の地域で常在性のウイルスによる麻疹症例が12ヶ月間以上ないこと

適切なサーベイランス

1. 国レベルで、2例/10万人口/年以上の取り下げ麻疹症例の報告があること。加えて、80%以上の国家に次ぐ行政単位(都道府県?) において同レベルの報告があること。
2. 80%以上の麻疹疑い症例から、急性期の麻疹ウイルス感染を検出するために適切な臨床検体が集められ、(WHOの認める) 熟練した実験室で検査が行われること。
3. 麻疹ウイルスの検出に適切な臨床検体が、実験室検査によって麻疹と確認された流行の80%以上から回収され、またその検体がWHOから認定された実験室で検査される事。
4. 全ての麻疹疑い症例のうち少なくとも80%以上で、症例の届出後、48時間以内に適切な調査が開始されなければならない。

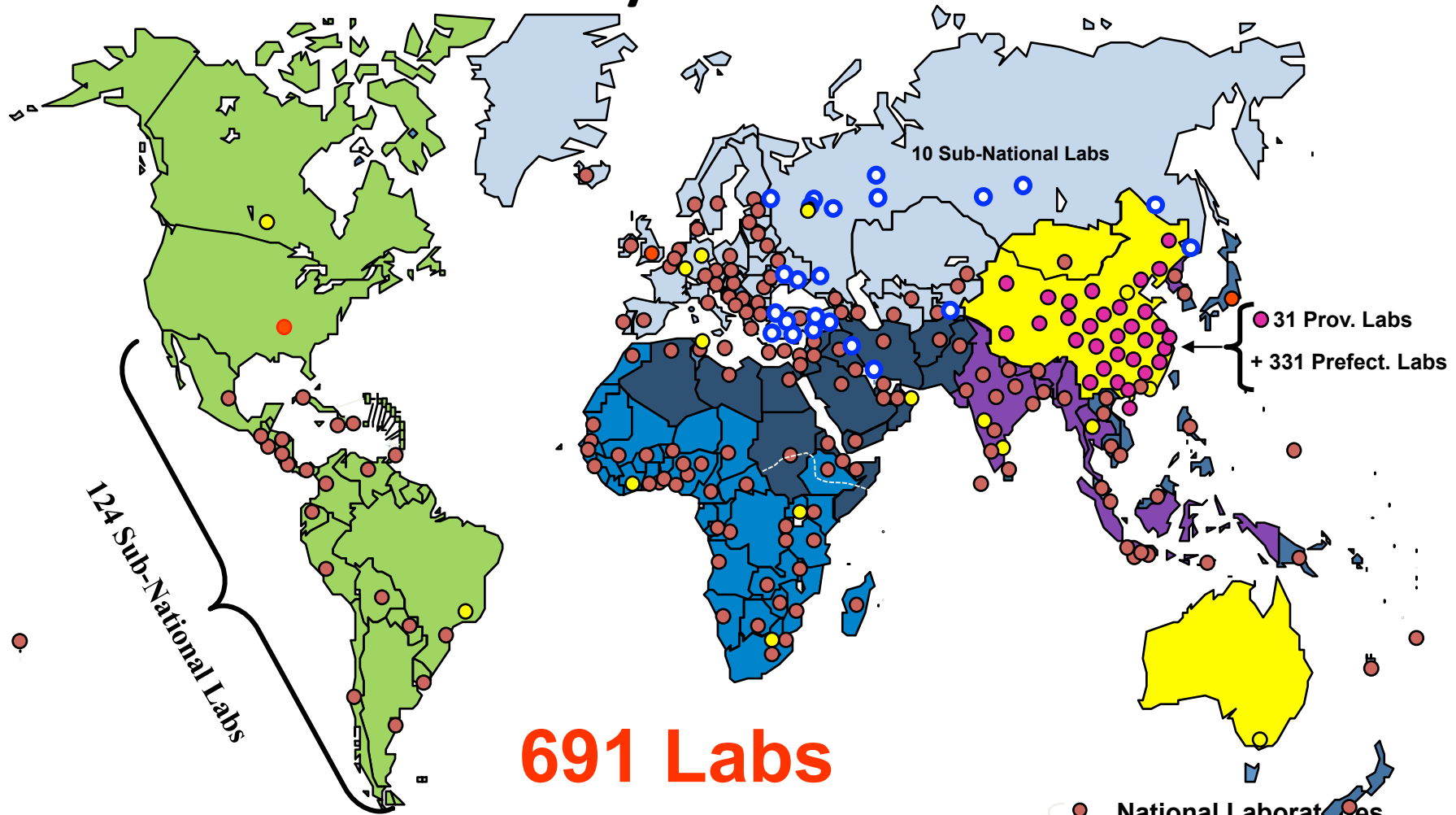
麻しん排除の定義 (WHO)

- 適切なサーベイランスの下、ある特定の地域で常在性のウイルスによる麻しん症例が12ヶ月間以上ないこと

適切なサーベイランス

1. 国レベルで、2例/10万人口/年以上の取り下げ麻疹症例の報告があること。加えて、80%以上の国家に次ぐ行政単位(都道府県?) において同レベルの報告があること。
2. 80%以上の麻疹疑い症例から、急性期の麻疹ウイルス感染を検出するために適切な臨床検体が集められ、(WHOの認める) 熟練した実験室で検査が行われること。
3. 麻疹ウイルスの検出に適切な臨床検体が、実験室検査によって麻疹と確認された流行の80%以上から回収され、またその検体がWHOから認定された実験室で検査される事。
4. 全ての麻疹疑い症例のうち少なくとも80%以上で、症例の届出後、48時間以内に適切な調査が開始されなければならない。

WHO Global Measles and Rubella Laboratory Network: 2012



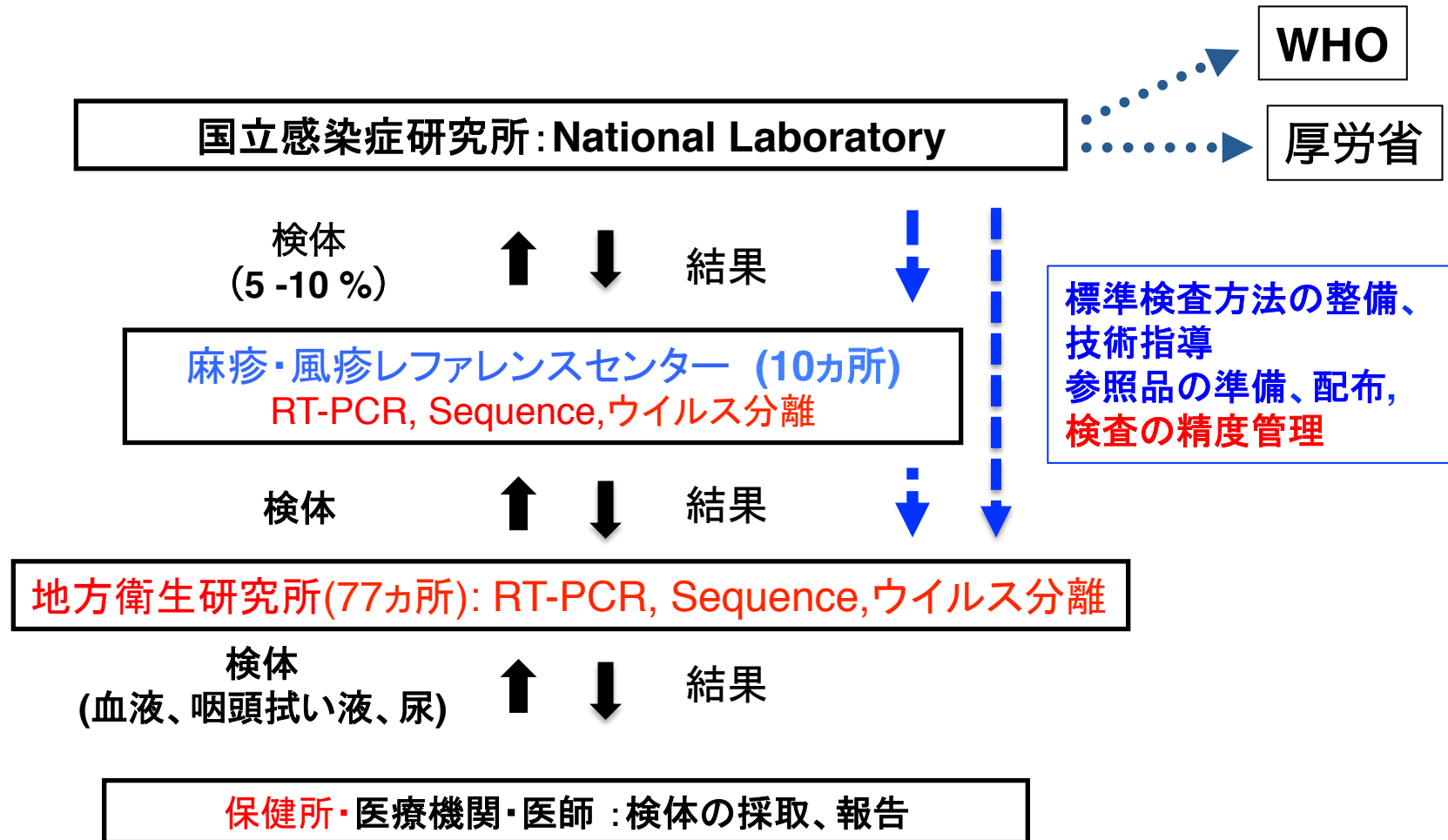
691 Labs

191/194 countries served by proficient labs

158 countries = **172**
(As of Jun 2013)

- National Laboratories
- Regional Reference Labs
- Global Specialised Labs
- Provincial Labs China
- Sub-National Labs

地衛研-感染研による 麻疹検査診断ネットワーク



H24年度麻疹・風しんレファレンス活動報告

感染研 → レファレンスセンター

- PCR用試薬の配布
- 参照RNAの配布 (麻疹、風しん)

レファレンスセンター → 地方衛生研究所

- PCR用試薬の配布
- 参照RNAの配布 (麻疹、風しん)
- 技術研修
- 情報収集
- 検査診断バックアップ

感染研 → 地方衛生研究所

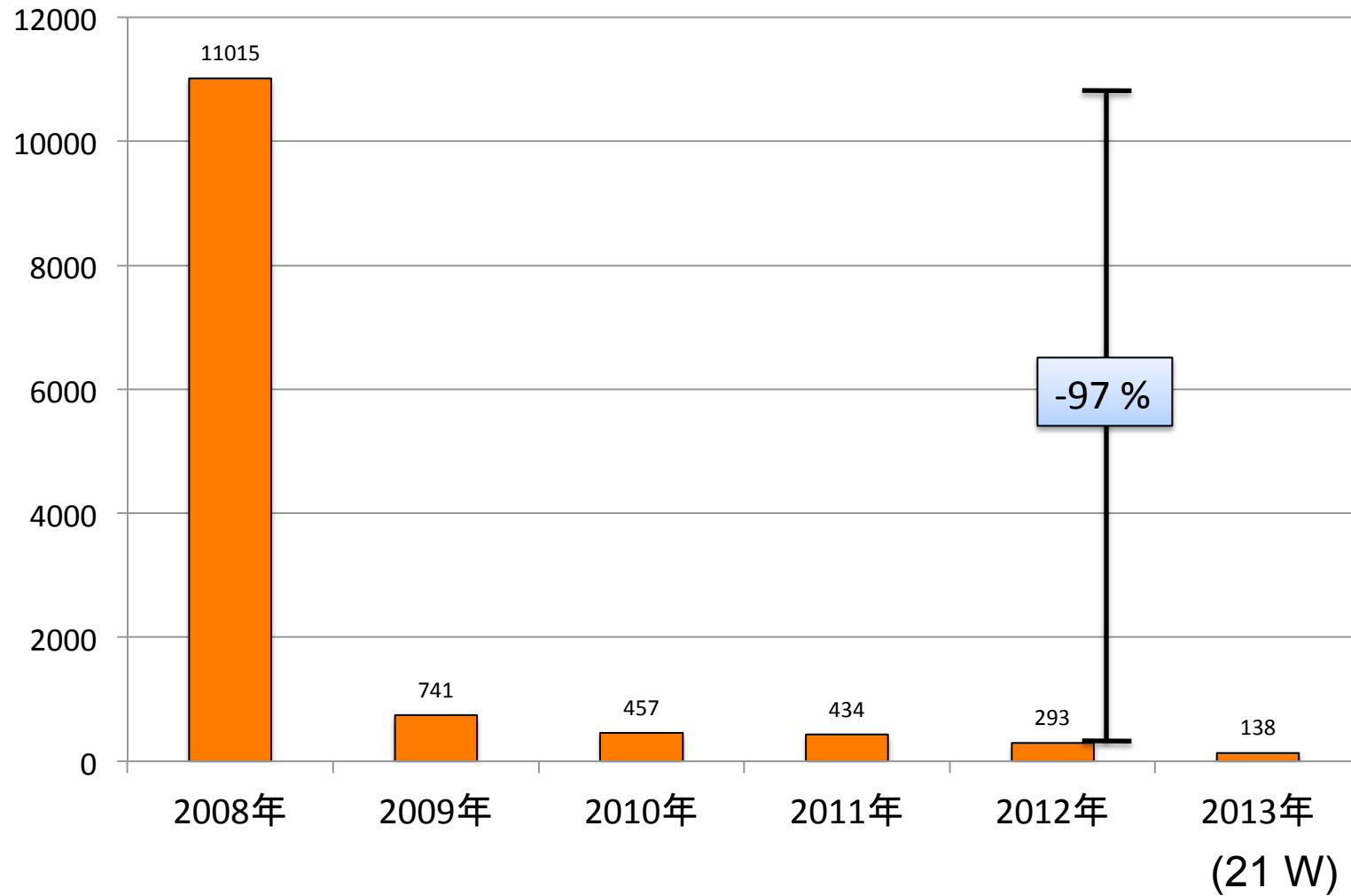
- Vero/hSLAM 細胞の配布 (3カ所)
- 検査診断バックアップ

- 病原体検出マニュアルの改訂(風疹) (RT-PCR法の改訂)

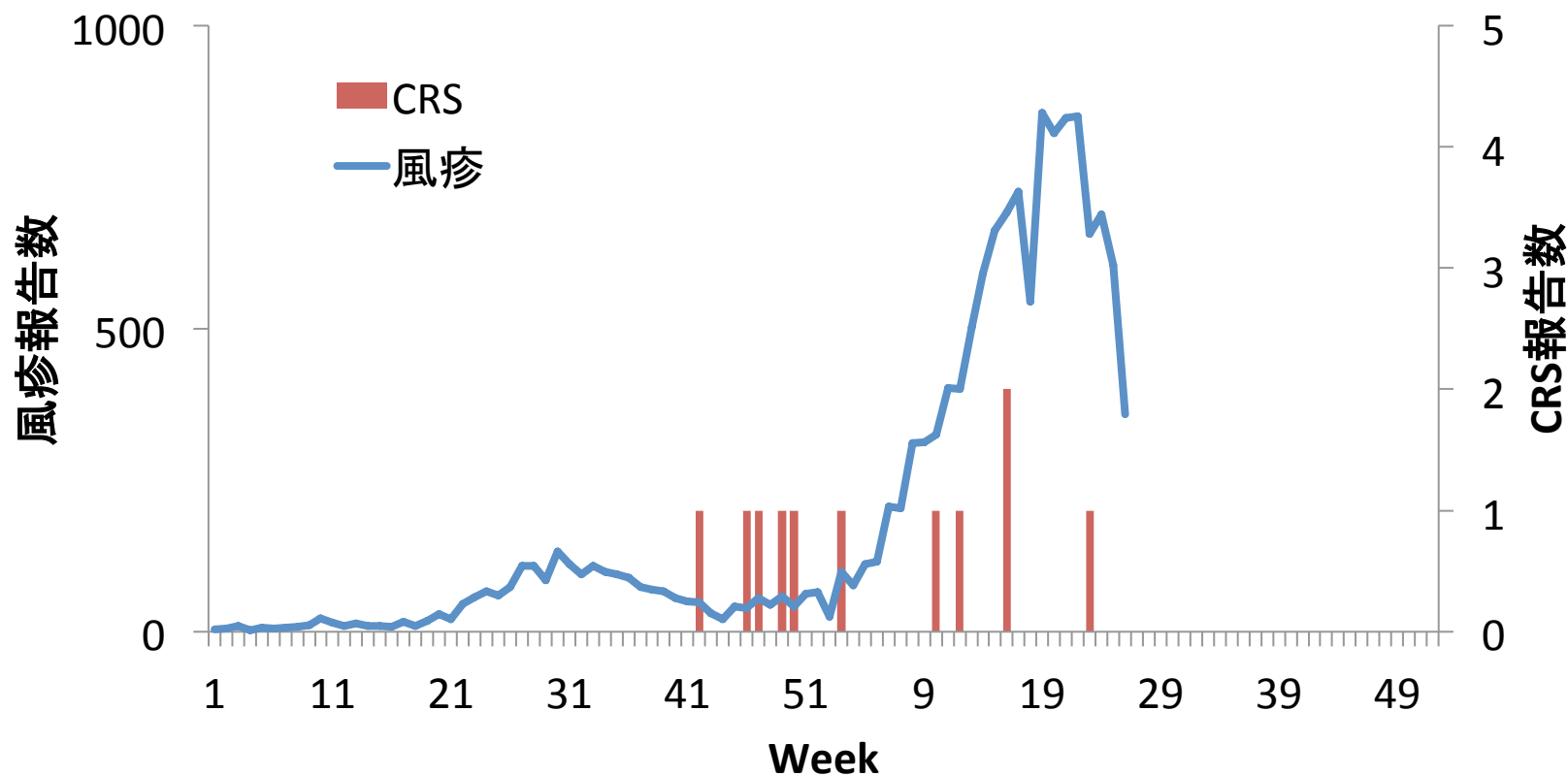
課題

- 検体
PCR検査が実施される環境の強化 → ウイルス遺伝子型情報
(麻しんに関する特定感染症予防指針)
- 診断法
Real-time RT-PCR法 の導入
レファレンスセンターによる評価 → 地衛研、病原体マニュアル
- 情報の集約
地衛研から感染研への検査数、陽性数等の情報、ならびに
ウイルス遺伝子情報の収集
- 検査の精度管理
PCR法、real-time-RT-PCR法 の molecular EQAの実施案の
作成
精度管理用kit の開発、評価

麻疹報告数の推移 (2008 ~ 2013.21W)



週別風疹およびCRS報告数 (2012.1-2013.26)



2012

2013

風疹 n=2,392

CRS n=5

風疹 n=11,991

CRS n=6



ご清聴ありがとうございました